

サンの島 コンサート 沖縄ヤンバルからの メッセージ

DUGONG ISLAND CONCERT

海勢頭 豊 賛助出演
「月桃の花」歌舞団



ギター&ヴォーカル
海勢頭 豊



ヴォーカル
島田 路沙



ヴァイオリン
海勢頭 愛

2009年 10月16日(金)

18:00 開場 18:30 開演

名古屋市西文化小劇場

前売 2,500 円 / 当日 3,000 円

主催 海勢頭豊サンの島コンサート実行委員会

後援 (財)世界自然保護基金(WWF)ジャパン

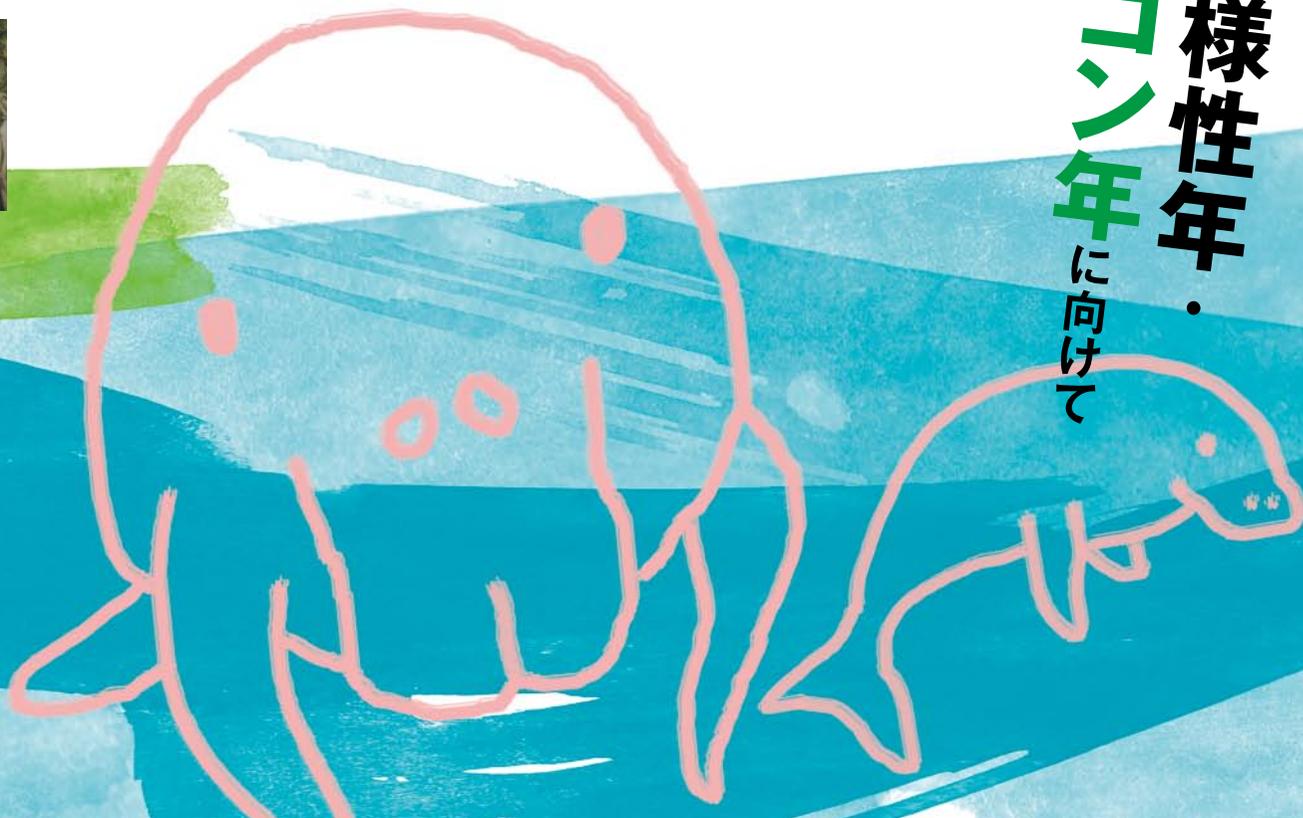
(財)日本自然保護協会

ジュゴン保護キャンペーンセンター

生物多様性条約市民ネットワーク

問合せ先：090-8524-6372 098-946-6663

2010年
国連国際生物多様性年
国際ジュゴン年に向けて



海勢頭 豊CD 「サンノ鳥」好評発売中!

2500円 + 120円送料でお送りします。

1. サン
2. トゥーヌーマーヌー
3. ザンの海
4. 帰れ太陽
5. 月桃
6. 喜瀬武原
7. 七つ星のうた
8. トラジの花
9. ハルラ山
10. うりずん



1943年 沖縄の平安座島で生まれる。戦後の激動期から沖縄の社会状況とその心を歌い続けている。「月桃」「喜瀬武原」「さとうきびの花」「トラジの花」などがよく知られる。創作グランドバレエ「血の婚礼」をはじめオペラなども数多く作曲。沖縄戦の実相を描いた映画「GAMA月桃の花」の製作と音楽を担当。戦後沖縄を描いた映画「MABUI」の製作代表も務めた。また、ジュゴンテーマに新曲を発表。ジュゴン保護キャンペーンセンターの代表として、国際自然保護連合世界会議(2004年、2008年)に参加。
<http://www5b.biglobe.ne.jp/~ai90125/>

げっとう はな かぶだん 「月桃の花」歌舞団

映画「GAMA-月桃の花」に込められた「命どう宝(命こそ宝)」の心を全国に広げようと、海勢頭豊の指導で1997年に結成。エイサーや三線、合唱、劇、バンドなどで構成。 <http://gkabadan.ivt.org/>

名古屋市西文化小劇場

地下鉄鶴舞線「浄心」下車
4番出口南へ徒歩3分

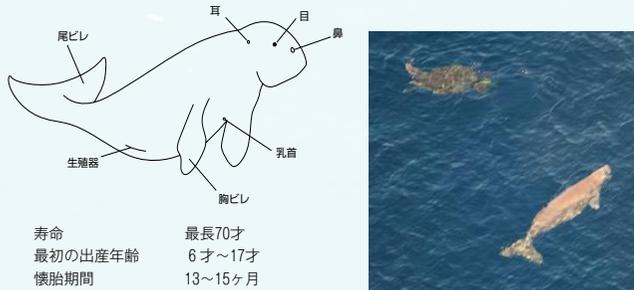
(名古屋駅から10分。地下鉄東山線伏見駅で鶴舞線に乗り換え)



ジュゴンの生態

ジュゴンはうみ草しか食べず、海の浅瀬にすむ哺乳類です。成長すると体長が3メートルで、体重は450キロにもなります。鼻は顔の上部に位置し、呼吸するときはバルブを開いて息をします。

5分間隔で海面に浮上して息をします。乳首は胸びれの内側にひとつずつ付いています。授乳している姿が、人間が子供を抱いているかのように見えるので、人魚のモデルになったのかもしれませんが。



寿命	最長70才
最初の出産年齢	6才~17才
懐胎期間	13~15ヶ月
出産から次の出産までの間隔	2.5年以上
授乳期間	およそ1.5年

出典: <http://www.yanbaru.ne.jp/~dugong/marshslide/marshslide.html>
沖縄のジュゴン 写真: 東恩納琢磨さん

飛行場施設の位置・形状



沖縄は 多様な生物の 宝庫



1. ジュゴンやウミガメの餌場がなくなる。海草78.1ヘクタール、海藻68.3ヘクタール。
2. ウミガメやアシサシの産卵・営巣地がなくなる。
3. ジュゴンやサンゴが絶滅する。
4. 埋め立て土砂の採取(1700万m³:全国採取量の1.3年分)で全国環境が破壊される。
5. 住民の睡眠妨害に配慮していない。

米軍基地建設(2010年埋め立て予定)は
沖縄の海をさらに破壊します。

2010年国際ジュゴン年—基地ではなく保護区を

あなたも ジュゴンを守る一人に

ジュゴン保護キャンペーンセンターは日本で唯一沖縄で生息しているジュゴンを守るために活動しています。

ジュゴン保護キャンペーンセンター(SDCC)

<http://www.sdcc.jp> e-mail: info@sdcc.jp

東京 03-5228-1377 大阪 06-6353-0514

郵便振替 口座番号: 00140 - 660199

加入者名: ジュゴン保護キャンペーンセンター

ゆうちょ銀行 019 当座 0660199

環境省のレッドリスト(絶滅の危機にある野生生物の種のリスト)には3155種が登録されています。しかし、法律で保護の対象にされているのは81種、そのうち計画があるのが38種。国内外から保護計画を求められている天然記念物ジュゴンは「該当する」(小泉内閣)と言われているから5年間も放置されています。COP10議長国として恥ずかしい限りです。

日本は議長国の資格ありますか?

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10、192カ国)が名古屋で開かれます。さまざまな生物がすみ、成長をなくむ生物多様性の保護は、地球温暖化対策と同様に人間社会にとって大事な問題です。沖縄にはサンゴや海藻場(ジュゴンの餌場)、マングローブ、干潟など生物多様性が高い海域が多く残っています。日本の環境団体は生物多様性条約市民ネットワークを結成(09年1月)して、議長国である日本政府に生物多様性を守ることを求めています。

2010年10月に名古屋で国際会議